

★(東京下・M子) 自らの手で作りあげた幻想「フーパー・コミュニティ」をいかに打ち砕いていくか。それこそ私が日常生活のなかでいかに何を創っていくかの問題です。

★(東京) N・N男 共同体が共同体として存続させるには、その理念を多くの人に知ってもらうことが必要です。実践の成果を丹念に明らかにするコミュニティ・フォーラムに努めるべきです。

★(横須賀) H・R治 共同体は生命をもつ人間と同様、出すものは出し、吸収するものは吸収する。そういうものだろう。男か女を見て感じるのは、顔だけでなく、肉体だけでなく、全体像だろう。しかし何か一番大切かといえば、土地、家、生産、消費、資金、知識、社会変動、残虐競争、みんな大事なんじゃないか。

★(京都) M・K男 そもそも私と共同体のつながりは、私の理想とする社会福祉国家建設のためにキヌツで人事管理を学ぶ必要性を感じたことにはじまります。それはエタヤ人が今まで苦難の道を歩みながらも建国の夢を捨てず、20年以上たった今でも幼幼意欲、向上心を失わない姿勢をもった人々が、日本や米因とは比べものにならない程いるという事実から、彼らの根底にあるものを学ばなくては私の福祉国家の礎にしようと思っ

この欄は、読者から寄せられたアンケート・私信・ヒラから構成されています。どんなにいろんなものを寄せたいとありあらず必要能力をつけています。そして世界を動かせるだけの金を作り、キヌツの中にある精神をもって、共鳴してこれる人と一緒に福祉国家を作りたいのです。

★(京都) H・K広 共同体に一番必要なのは指導者。といってそればかりがいいだっぺしのような人。へ別にその人がずっと指導者の役割をつかなくても良いのだ。一「追従者のいない指導者」

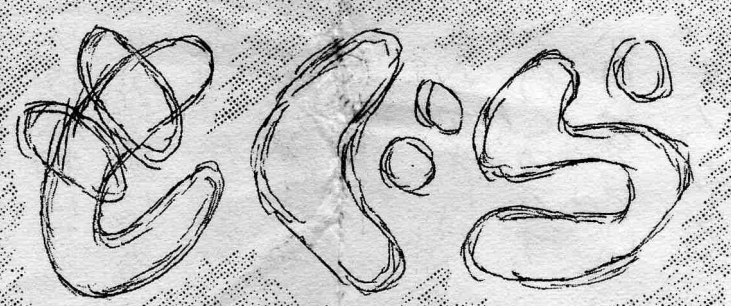
★(大阪) E・Y秋 共同体を志向することは、新しい人間関係、新しい社会を作ろうとする精神だと思ふ。もし全てがそういう精神を明確に持った時、資金は別段問題ではない。が、現実として精神の有り様が各自各様であるので、その精神を更に動的に発展せしめていく手段として物的なる資金がどうしても必要とならざるを得ない。それは資金と精神とのまるで男と女が新しい生命を作り出すような関係だと思ふ。新しい価値は精神と物質との相互関係の上に成立するから、一番必要なのは資金と意欲です。

★(三重) K・O雄 人が集まる理由、現時点で、人の成す行為から察せられる深いものを、仕事をやりながら考える。無秩序さといわれる備北がよいのどのと向われるより、自分を確かめる勉強法をとり入れ、何にでも入れる者に成る。これを共同体の源と思ふ。しかるに何ごとも固定はいけない。身体的には十分でも明白の生命に今は何故存するか？ たに知るにつきま。無に接近する気持。ユートピアはいつでも

たより 72.1.10

府中の「土が欲しいもぐらの会」が、新しく「もぐら」もぐらとして誕生した。「共同体運動の構築」をめざして自主講座「人間解放の理論のために」(真木悠介)をやっている。その会報がといた。

「もぐらの会」をやっていた共同体研究会が、共同体というテーマのもつ深さとイメージの多様さのために、話が空転してしまい、共同生活をやるなかでつきつめていくより他ないのではないかと考えるようになった。去年の8月、「もぐらの会」のメンバー有志で共同生活を初め、今や、自主講座が、



よくへん N-ro. 0

です。共同体というにはあまりにもあまづつかもしれません。個々のもつ共同体のイメージを、自分達の共同体像として、自主講座や様々な運動体・個人との交流、これに自分達の実践活動を通じて試行錯誤しながら模索していきつというのが当面の目的です。

「もぐら」もぐらに関心のある方、自主講座に行ってみようと思っ方、できたら自己紹介らしき文章でも書いて連絡下さい。連絡先：東京都府中市四谷

3の55の20

TELE: 042376474 / 7224 (ただしPM6:30時)